

県立図書館通信

3月号
H30.3.2 発行



3月17日から「肥前さが幕末維新博覧会」が開催されます。県立図書館では、幕末・明治維新に関する本を展示しています。維新博とあわせてぜひ見に来てください！

佐賀県立図書館の本の中から、高校生におすすめの本を紹介します。

新しく入った本



「宮沢賢治の地学教室」

柴山 元彦/著
創元社/発行
資料コード 115841538

宮沢賢治の作品に描かれている地学的な表現と結びつけて、高校生の教科書程度の地学を楽しく学べます。

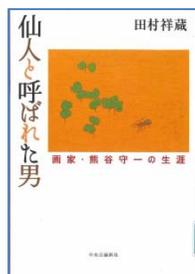
本書で学んだ後に作品を読み返すと新しい発見があるかもしれません。



「髪がつなく物語」

別司 芳子/著
文研出版/発行
資料コード 120889308

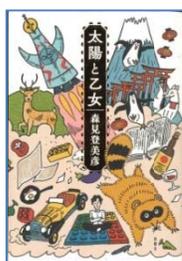
のびした自分の髪を寄付する「ヘアドネーション」。寄付された髪はウィッグになり、病気等で髪を失った子どもたちに寄付されています。この活動に取り組む人たちや、髪を提供する子ども、ウィッグを受取る子どもたちの思いを取材した感動のノンフィクションです。



「仙人と呼ばれた男」

田村 祥蔵/著
中央公論新社/発行
資料コード 115838625

画家熊谷守一は、貧しくとも、自分の生き方を貫いた一風変わった人物です。しかし、人から慕われ、多くの人々がその人物像や作品に魅了されてきました。どんなときも自分らしく……すばらしい生き方に出会える一冊です。



「太陽と乙女」

森見 登美彦/著
新潮社/発行
資料コード 115842593

『太陽の塔』や『夜は短し歩けよ乙女』の著者が、デビュー以来、14年間にわたって新聞や雑誌などに発表してきた文章をまとめたエッセイ集です。軽い読み心地で、どこから読んでも楽しめます。

読んでみよう

本を心の支えに

悩んだり、迷っているとき、本に書いてある言葉に励まされたり、自分とは違った考え方に影響されたり、本はみなさんの心の支えになり、成長する糧になります。ぜひ読書の習慣を身につけて、多くの本に出会ってください。



「大人になるっておもしろい？」

清水 真砂子/著、岩波書店/発行、資料コード 120762984

自分らしさを大切にしたいという気持ちと、周りにあわせて、輪から外れないようにしようという気持ち。迷いや悩みがつきない10代に、もっと伸びやかに生きようと呼びかけています。読むと心が軽くなる一冊です。



「10代のための古典名句名言」

佐藤 文隆・高橋 義人/著、岩波書店/発行、資料コード 120719083

著者が若い頃に出会い、深く心に残った言葉や青春時代を支えてくれた言葉を選んで掲載しています。歴史の中で語り継がれてきた名言名句に接することで、自分の視野を広めるきっかけになりますよ。



「君たちはどう生きるか」

吉野 源三郎/原作、マガジンハウス/発行、資料コード 120893235

1937年に出版されてから、子どもたちの道徳の書として現在も読み継がれている『君たちはどう生きるか』を漫画化。活字が苦手な人も、本書を読んでから原作を読んでみてはいかがでしょうか。生き方に迷うとき、大切な指針が見えてきます。

■編集■ 佐賀県立図書館 企画課 図書館ネットワーク担当 (0952-24-2900)

◎この通信はHPにも掲載しています。蔵書検索もできます。

☞<http://www.tosyo-saga.jp/kentosyo/>

問い合わせはこちらまで